

法人名	南レク株式会社
-----	---------

所管部(局)課	土木部 都市整備課
---------	-----------

1 法人の概要

平成 31 年 3 月 31 日 現在

代表者名	代表取締役 井伊盛一郎	ホームページURL	http://www.nanreku.jp/		
所在地	愛媛県宇和島市津島町近家甲1813	電話番号	(0895)32-3344		
基本金・資本金等	400,000 千円 (減資前1,500,000千円)	設立年月日 (移行年月日)	昭和48年 6月 14日 (平成 年 月 日)		
主な出資者	出資者名		出資額(千円)	出資比率(%)	
	愛媛県		106,933	26.7	
	四国電力株式会社		75,333	18.8	
	宇和島市		62,000	15.5	
	愛南町		51,333	12.8	
四電ビジネス株式会社		38,000	9.5		
設立目的	地域との連携を図りながら、南予レクリエーション都市公園施設を適正に管理し、利用を促進することにより、南予レクリエーション都市公園とその周辺地域の活性化を図ることを目的とする。				
設立の経緯及び経過	-				
主な事業内容	①公園施設等の管理業務の受託 ②都市公園内のサービス施設の運営 ③施設の経営、賃貸借及び維持管理 ④旅行業法に基づく旅行業 ⑤損害保険代理業 ⑥その他、前各号に掲げる事業に関連して必要とされる事業			管理受託施設 (指定管理者施設を含む) 南予レクリエーション都市公園 第5号南予レクリエーション都市公園	

2 組織の状況(平成30年度事業分)

(単位:人)

区分	年度	平成27年度					平成28年度					平成29年度					平成30年度					増減	左記の増減理由
		合計	プロパー	うち(派遣)	うち(兼務)	うち(県OB)	合計	プロパー	うち(派遣)	うち(兼務)	うち(県OB)	合計	プロパー	うち(派遣)	うち(兼務)	うち(県OB)	合計	プロパー	うち(派遣)	うち(兼務)	うち(県OB)		
役員		13	1	0	0	1	13	1	0	0	1	13	1	0	0	1	13	1	0	0	1	0	
常勤		2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	
非常勤		11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	
職員		61	61	0	0	0	61	61	0	0	0	60	60	0	0	0	60	60	0	0	0	0	
正規職員		26	26	0	0	0	26	26	0	0	0	27	27	0	0	0	28	28	0	0	0	1	正規職員の補充
非正規職員		35	35	0	0	0	35	35	0	0	0	33	33	0	0	0	32	32	0	0	0	△1	
常勤職員		35	35	0	0	0	35	35	0	0	0	33	33	0	0	0	32	32	0	0	0	△1	
非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県関係職員の実数		0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
県退職後2年内雇用OB																					1		
役員・職員の兼務等特記事項		正規職員のうち1名は、常勤役員兼務(H27-30年度)																					

※役員・職員の兼務等特記事項については、プロパー、県職員の別を明記してください。

法人名 南レク株式会社

3 実施事業評価表

※事業計画書に記載されている主要事業については、必ず記載してください。

(単位:千円、%)

事業名1		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
		売上高(事業収益)	359,874	368,133	367,857	368,255	365,232	△0.8	
		うち県補助金等	318,235	322,739	322,739	321,517	321,517	0.0	
		売上原価(事業費)	362,308	367,504	367,984	368,132	365,285	△0.8	
事業 開始年度	S51	うち人件費	203,435	197,772	196,761	197,652	199,041	0.7	
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合						-		
成果指標	指標項目(単位)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
	南楽園入園者(人)		65,170	65,966	66,205	67,322	66,187	△1.7	集客施策(新たな魅力を創出)
	御荘プール利用者(人)		44,954	51,553	55,703	55,564	50,230	△9.6	同上
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)		南予レクリエーション都市公園の管理運営							

(単位:千円、%)

事業名2		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
		売上高(事業収益)	12,693	12,759	12,065	11,650	10,474	△10.1	自社企画ツアーの減
		うち県補助金等		0	0	0	0	-	
		売上原価(事業費)		12,087	11,424	10,989	10,035	△8.7	
事業 開始年度	H20	うち人件費		321	327	332	348	-	
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合						-		
成果指標	指標項目(単位)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
	自社企画収入(千円)			6,347	4,103	4,804	4,078	△15.1	南レク観光商品(着地及び発地)
								-	
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)		南レク公園及び南予地域への交流人口拡大を見込んだ着地型旅行業							

(単位:千円、%)

事業名3		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
		売上高(事業収益)	7,430	7,430	7,430	7,430	7,430	0.0	
		うち県補助金等	0	0	0	0	0	-	
		売上原価(事業費)	5,848	5,735	6,603	6,783	6,205	△8.5	
事業 開始年度	S54	うち人件費	0	0	0	0	0	-	
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合						-		
成果指標	指標項目(単位)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
	利用者数(人)		1,513	2,602	2,167	2,350	1,631	△30.6	地域への交流人口活性化
								-	
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)		南予レクリエーション都市公園への集客を見込んだ宿泊施設の賃貸経営(サンパール観光㈱へ経営委託)							

(単位:千円、%)

事業名4		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
5号公園管理受託		売上高(事業収益)	2,842	2,871	2,837	2,818	2,831	0.5	
		うち県補助金等	0	0	0	0	0	-	
		売上原価(事業費)	3,274	2,955	2,851	2,803	2,844	1.5	
事業 開始年度	H21								
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合								
成果指標		指標項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
		年間公園利用者(人)	36,421	36,534	36,470	33,920	36,079	6.4	地域住民の健康増進活動
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)		第5号公園南レク公園の公園運営管理を愛南町より受託							

(単位:千円、%)

事業名5		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
		売上高(事業収益)						-	
		うち県補助金等						-	
		売上原価(事業費)						-	
事業 開始年度									
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合								
成果指標		指標項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
								-	
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)									

(単位:千円、%)

事業名6		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
		売上高(事業収益)						-	
		うち県補助金等						-	
		売上原価(事業費)						-	
事業 開始年度									
事業 終了年度	※予定、見込みがある場合								
成果指標		指標項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	指標選定理由
								-	
事業内容 (事業の目的、期待される効果、これまでの成果等)									

法人名 南レク株式会社

4 財務状況(H30年度)

(単位:千円、%)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (個々の項目で前年度10%前後の増減及び 当該年度特有の事情による増減があった場合に記入)
【損益計算書】	売上高又は営業収益	452,177	463,693	463,330	463,379	457,991	△1.2	
	売上原価	432,576	438,862	440,574	441,865	434,770	△1.6	
	売上総利益	19,601	24,831	22,756	21,514	23,221	7.9	
	販売費及び一般管理費	2,088	2,065	1,912	2,236	2,032	△9.1	
	営業利益	17,513	22,766	20,844	19,278	21,189	9.9	
	営業外収益	1,098	2,179	3,822	1,477	1,794	21.5	受取利息及び雇用助成金の増加
	営業外費用	312	1	1	1	1	0.0	
	経常利益	18,299	24,944	24,665	20,754	22,982	10.7	
	特別利益	8	9	1	2	0	△100.0	
	特別損失	14	145,039	309	148	179	20.9	役員退職慰労金の増加
	税引前当期純利益	18,293	-120,086	24,358	20,608	22,803	10.7	売上原価の抑制
	法人税等及び法人税調整額等	8,716	-29,423	11,008	10,297	11,229	9.1	
	当期純利益	9,577	-90,663	13,350	10,311	11,575	12.3	売上原価の抑制
【貸借対照表】	資産	727,986	627,694	649,261	667,663	678,347	1.6	
	流動資産	253,540	279,069	307,779	336,127	358,292	6.6	
	うち現金預金	235,788	254,516	286,145	315,758	333,110	5.5	
	固定資産	474,446	348,625	341,482	331,535	320,055	△3.5	
	負債	164,085	154,455	162,672	170,762	169,872	△0.5	
	流動負債	34,994	29,712	39,712	39,259	44,406	13.1	
	うち短期借入金	0	0	0	0	0	-	
	固定負債	129,091	124,743	122,960	131,504	125,466	△4.6	
	うち長期借入金	0	0	0	0	0	-	
	純資産	563,901	473,239	486,589	496,900	508,475	2.3	
資本金	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	0.0		
利益剰余金等	163,901	73,239	86,589	96,900	108,475	11.9	当期純利益加算	
負債及び純資産合計	727,986	627,694	649,261	667,663	678,347	1.6		

【人件費内訳】(H30年度)

(単位:千円、%)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
役員人件費		5,798	5,707	6,059	6,320	6,165	△2.5	
職員人件費	うち事業費分	200,745	195,500	193,550	194,363	195,745	0.7	
	うち管理費分						-	
	小 計	200,745	195,500	193,550	194,363	195,745	0.7	
合 計		206,543	201,207	199,609	200,683	201,910	0.6	

【県の財政的関与】(H30年度)

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減率 (前年度比)	増減理由 (前年度10%以上の増減があった場合)
負 担 金	0	0	0	0	0	-	
補 助 金	0	0	0	0	0	-	
委 託 料	318,235	322,739	322,739	321,517	321,517	0.0	
うち指定管理委託料	318,235	322,739	322,739	321,517	321,517	0.0	
うち再委託額	74,830	72,213	74,085	74,363	72,820	△2.1	
貸 付 額	0	0	0	0	0	-	
県 支 出 金 計	318,235	322,739	322,739	321,517	321,517	0.0	
貸付残高(期末)	0	0	0	0	0	-	
損失補償に係る債務負担残高(期末)	0	0	0	0	0	-	

【県の財政的関与の内訳】(H30年度)

(単位:千円)

区分	名称	金額	左記の内容
負担金			
補助金			
委託料	南予レクリエーション都市公園指定管理業務	321,517	南予レクリエーション都市公園の管理運営
貸付金			
損失補償			

【財務関係指標】(H30年度)

(単位:%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減	指標計算式
県財政支出依存度	70.2	69.3	69.1	69.2	69.9	0.8	県からの補助金等(補助金・負担金・委託金)÷経常収益計×100
県受託事業の再委託度	23.5	22.4	23.0	23.1	22.65	△0.5	県からの受託事業の外部委託費÷県からの受託事業費×100
人件費比率	47.5	45.6	45.1	45.2	46.2	1.0	人件費÷(売上原価+販売費及び一般管理費)×100
正味財産比率又は自己資本比率	77.5	75.4	74.9	74.4	75.0	0.5	純資産÷(負債+純資産)×100
流動比率	724.5	939.2	775.0	856.2	806.9	△49.3	(流動資産÷流動負債)×100
借入金依存率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(長期借入金+短期借入金)÷資産×100

法人名 南レク株式会社

5 法人の現状及び過去の評価結果

<p>法人の現状</p>	<p>・津島やすらぎの里指定管理業務終了に伴い、大幅な人員削減や、経費の効率化を図ったこと。また、利用者獲得に向けたメリハリのある投資を実行したことにより、8期連続した黒字計上が達成でき、経営基盤の強化を図ることが出来たと思われる。 今後も利用者獲得に向け、愛媛県と民間企業との「連携と協力による包括協定」を活用したPRの継続実施や、HPやSNSを活用したメディアへの露出度拡大、全国の旅行会社へ南レク公園及び四国西南地域を含めた観光施設を一体化した営業活動の強化及び着地型旅行商品の充実を図り、愛媛県南予地域の交流人口の拡大を図り地域活性化に寄与できる取組を展開してまいりたい。</p>
<p>県出資法人改革プランに基づく最終点検評価結果 (平成22年度総括)</p>	<p>・南レク都市公園の利用者が減少傾向にある中、改革期間中、組織再編、大幅な人員合理化、業務の見直しによる経費節減等により4年連続で経常利益からの黒字を確保したことは評価できる。 ・新たに開始した観光業や地元市の指定管理者施設の運営などを通じて、一体的な利用促進に向けた取組を一層進め、南レク都市公園の利用促進はもとより、南予地域の経済活性化に資するよう積極的な経営展開を図っていただきたい。そのために、新鮮な魚介類や風光明媚な景観など自然の恵みが豊かな南予地方の特長を活かし、若い人々のアイデアや感覚を積極的に取り入れながら、斬新な集客策に思い切って挑戦していただきたい。 ・減資により公認会計士による監査が行われなくなったが、子会社を有していることから、監査の精度を落とすことなく、適切な会計処理、資産の適正な評価には十分留意していただきたい。</p>
<p>県出資法人経営評価指針に基づく経営評価結果 (平成23～25年事業総括)</p>	<p>○ 評価期間を通じて、業務の効率化や自主事業の強化を図るための組織体制の見直しを実施するとともに、事業の見直しに伴う大幅な人員削減、経費の効率的執行等を実施したことにより、4期連続して黒字を確保したことは評価できる。 ○ 平成19年の減資以降、公認会計士による監査が行われなくなったが、当法人は子会社を有していることから、その経営状況にも留意するとともに、適切な会計処理、資産の適正な評価に努めていただきたい。 ○ 今後は、県が実施を検討している南予地域の観光イベントや、えひめ国体との連携を図り、施設のPRや利用拡大に取り組み、交流人口の拡大や地域の活性化に貢献していただきたい。</p>
<p>県出資法人経営評価指針に基づく経営評価結果 (平成26～29年事業総括)</p>	<p>○ 県が実施を検討している南予地域の観光イベントや、えひめ国体との連携を図り、施設のPRや利用拡大に取り組み、交流人口の拡大や地域の活性化に努めること。 ○ 28年度決算においては、公園利用者数の減少などにより、売上高が減少したが、経常利益はおおむね昨年度並みの額を確保するとともに、当期純利益も確保できたことは評価できる。 ○ 四国Cルート観光協議会・共通券の販売など他団体との連携を継続することに加え、自主企画事業の充実強化、「和」を意識した取組み、外国人観光客の受入れ等による魅力向上を図るとともに、積極的な営業活動による利用者の増加を図り、自主財源の確保に努めること。</p>

6 令和元年から令和4年における2次評価内容

<p>令和元年</p>	<p>①30年度の財務状況は、当期純利益が、29年度の10,311千円から11,575千円に増加、利益等剰余金等も29年度と比べて11,575千円増加した。 これは、昨年7月の西日本豪雨災害により、夏場の南レク公園利用料金が御荘プールを中心に大きく減収した中、秋以降に新規イベントを開催するなど売上の回復に努めた結果であると考えられる。年間の売上高は減少したものの、売上総利益は29年度と比べて1,707千円の増加となっており、同社の積極的な取組みの成果として評価できる。 今後も引き続き、効果的・効率的な経営に努めること。 ②子会社のサンパール観光株については、同社からの貸付及び金融機関への債務保証を行っているが、経営状況が継続的に悪化していることから、今後の対応について、同社への影響を考慮の上、適宜、関係者とも協議しながら検討を進めること。 ③フェイスブックやブログを活用した各種イベント情報等の発信に取り組んでいることは評価できる。引き続き、ホームページやSNS、マスコミなどを活用した効果的な情報発信に努め、利用者の利便性・サービスの向上を図ること。 なお、財務状況に関する情報の公開・提供(ホームページ・パンフレット等)に当たっては、説明責任を果たすためにも、正確で分かりやすい表現に努めるほか、事業ごとの具体的な状況(収支・成果)の記載にも努めること。</p>
<p>令和2年</p>	
<p>令和3年</p>	
<p>令和4年</p>	

7 県出資法人経営評価指針に基づく今後の課題と取組実績

(1) 出資法人の自主性・自立性の向上

○組織体制の見直し、役職員数及び給与制度の見直し

取り組むべき課題		正社員の定年退職後の再雇用制度の活用と新規正社員の雇用数の抑制
取組内容	共通	再雇用制度の活用と新規正職員数の抑制。 繁忙・閑散期における機動的な組織運用。 能力に応じた人事への移行
	令和元年	再雇用制度の活用を開始。定期昇給の抑制継続（4号給→2号給に抑制） 繁忙期における機動的な組織運用。あわせてシルバー人材センターや人材派遣を活用
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	

○経営基盤の充実強化、経営におけるPDCAサイクルの実践

取り組むべき課題		公園利用者増加による売上増収 子会社の経営状況の見極め
取組内容	共通	公園利用者増加に向けたイベント等の施策 子会社経営状況の見極め
	令和元年	公園利用者増加に向けたイベント等の施策 子会社経営状況の見極め
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	

(2) 県の関与の適正化

○財政的関与の見直し

取り組むべき課題		南レク公園資源を活用した、魅力ある自主イベントの開催し利用料金の増収を図ること。
取組内容	共通	交流人口の拡大を目指し、南レク公園利用料金等の収入増加を図る
	令和元年	事業計画に沿い、自主事業、広告、各種セールス等、利用促進に努め増収に努めた。
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	

○人的関与の見直し

取り組むべき課題		知識経験を有する県退職者の適任者の役員就任の継続とプロパー職員の育成
取組内容	共通	必要最小限度の知識経験を有する県退職者の役員就任とプロパー職員の役員就任の体制継続
	令和元年	知識経験を有する県退職者1名が代表取締役、プロパー職員1名が取締役へ就任中 <small>プロパー職員育成に係る取組</small>
	令和2年	<small>プロパー職員育成に係る取組</small>
	令和3年	<small>プロパー職員育成に係る取組</small>
	令和4年	<small>プロパー職員育成に係る取組</small>

※プロパー職員育成計画等を作成している場合は添付してください。

○出資法人の活用

取り組むべき課題		四国西南地域を含めた南レク公園の情報発信の継続
取組内容	共通	各種協議会等へ加盟し南レク公園の情報発信。 当社独自の大手旅行会社等へのセールス。 地域との連携したイベント開催や受入れ
	令和元年	各種協議会(スポーツ合宿、四国Cルート他)に加盟した利用者の獲得。 地域観光施設との共通券の販売。 愛媛県南予地方局と津島町商工会主催の働く車ショー&つしま商工まつりの受入れ(春・秋開催)
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	

※特に、産業振興や地域活性化への関与、貢献に当たる取組みや事業を記載してください。

(3) 法人情報等の積極的な開示等

○法人情報の公開

取り組むべき課題		会社概要、決算報告など、県民がいつでも会社の運営状況を確認できるよう取組むこと
取組内容	共通	県民に理解が得られるよう、会社概要、決算報告をHPへ継続掲載すること。
	令和元年	会社概要、決算報告書をHPへ掲載継続
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	

○認知度の向上

取り組むべき課題		南レク公園資源と自主イベントを多様な媒体を活用し露出していくこと。
取組内容	共通	HP、TVCM、広報誌等を活用したPRと積極的な取材の受入れ
	令和元年	HP、TVCM、新聞広告等積極的に活用し認知度向上に努めた。 HPのアクセス数(対前年)は西日本豪雨の影響もあり減少した。 平成30年度194,560アクセス 平成29年度204,635アクセス -10,075アクセス
	令和2年	
	令和3年	
	令和4年	



8 令和元年度評価

(1) 1次評価

<p>法人による評価</p>	<p>平成30年度については、7月に西日本豪雨災害が発生し、その後の風評被害もあったことから、7. 8月の2か月間の南レク公園利用料金が御荘プールを中心に大きく減収(対前年4,158千円:前年比84.5%)し、秋以降に新規イベント「坂村真民南楽園企画展」、「ハロウィンパーク」の開催や南楽園梅まつりで売上の回復を図ったが、豪雨災害の影響が大きく年間売上は減収した。</p> <p>しかしながら、利用人数については、南楽園ファミリーパークや松軒山公園など自社の取組による増加や、津島プレーランドにて愛媛県南予地方局と津島町商工会が「働く車ショー&amp;つしま商工まつり」を共同開催しこともあり、南レク公園全体で4,806人の利用者が増加した。これについては、自主事業の魅力度向上策やインバウンドの取組、スポーツ合宿誘致や地域との連携、旅行会社への地道なセールス活動、HPでのPRなどを継続している効果が表れている。</p> <p>財務状況については、減収となったが費用の抑制に努めたことにより、前年度を上回る利益確保ができたことは評価できていると考えている。</p> <p>経営基盤の一つとして重要であり、株式を保有しているサンパール観光(株)の経営状況が継続的に悪化しており、貸付金も有していることから、今後の運営状況については特に注視し、当社に及ぼす影響を考慮しながら、最善策を検討し対策を進めていきたいと考えている。</p> <p>これまで、継続して取り組んでいる自主事業等の施策は、過疎化が続き人口減少が進む状況下、地域への交流人口の拡大に微力ながら寄与出来たと考えており、今後も基本的には同様のスタンスで地域の発展に尽くしてまいりたい。</p>
<p>法人所管課による評価</p>	<p>30年度は、7月の西日本豪雨により利用料金収入は減収したにもかかわらず、利用者数は増加しており、これは、指定管理者の実施するイベントやチラシ・SNS等による情報発信やイベント等の積極的な開催によるものだと考えている。また、旅行会社等に対するセールスも以前から継続して実施しており、誘客に対する地道な努力について、評価している。</p>

(2) 2次評価

<p>①30年度の財務状況は、当期純利益が、29年度の10,311千円から11,575千円に増加、利益等剰余金等も29年度と比べて11,575千円増加した。</p> <p>これは、昨年7月の西日本豪雨災害により、夏場の南レク公園利用料金が御荘プールを中心に大きく減収した中、秋以降に新規イベントを開催するなど売上の回復に努めた結果であると考えられる。年間の売上高は減少したものの、売上総利益は29年度と比べて1,707千円の増加となっており、同社の積極的な取組みの成果として評価できる。</p> <p>今後も引き続き、効果的・効率的な経営に努めること。</p> <p>②子会社のサンパール観光(株)については、同社からの貸付及び金融機関への債務保証を行っているが、経営状況が継続的に悪化していることから、今後の対応について、同社への影響を考慮の上、適宜、関係者とも協議しながら検討を進めること。</p> <p>③フェイスブックやブログを活用した各種イベント情報等の発信に取り組んでいることは評価できる。引き続き、ホームページやSNS、マスコミなどを活用した効果的な情報発信に努め、利用者の利便性・サービスの向上を図ること。</p> <p>なお、財務状況に関する情報の公開・提供(ホームページ・パンフレット等)に当たっては、説明責任を果たすためにも、正確で分かりやすい表現に努めるほか、事業ごとの具体的な状況(収支・成果)の記載にも努めること。</p>
---